

取扱説明書

スタートアップガイド編

ワイヤレスイヤホン

型名 **HA-FX550T**



© 2024 JVCKENWOOD Corporation

B5A-4620-10

「Web マニュアル編」のご案内

詳しい操作やマルチポイント機能、アプリの使い方などについては、「Web マニュアル編」をご覧ください。

<https://manual3.jvckenwood.com/accessory/headphones/contents/ha-fx550t/jp/>



専用アプリのダウンロードはこちら

Victor Headphones

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機の証明表示 (㊞) を改変すること

2.4 FH 1

2.4 : 2.4 GHz 帯を使用する無線機器です。
FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

——— : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

本機の使用周波数帯 (2.4 GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止 (電波の発信を停止) してください。そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

㊞ R 218-240277

使用上のご注意

- 火災、やけど、感電の原因となりますので、一度プラグ部分が曲がってしまった充電用ケーブルは使用しないでください。また、プラグや本体の端子部分に液体 (汗や飲料水、除菌用のスプレーなど) や異物 (細かいゴミやホコリ、金属片など) が付着しないよう注意してください。付着したときや、異音・異臭がしたり、煙が出たときは、すぐに使用を中止してください。
- イヤーピースが確実に取り付けられていないと、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前には必ず、確実に取り付けられていることをご確認ください。
- 使用中にイヤーピースがはずれて耳の中に残ってしまった場合は、耳に損傷を与える可能性がありますので、自ら摘出は行わず、ただちに医師の診療を受けてください。
- イヤホン本体やイヤーピースを誤って飲み込まないように、小児の手の届かないところに保管してください。
- はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げてください。
- イヤホン本体などが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- 金属部分が直接肌に触れますので、金属アレルギーのある方や、その恐れのある方は使用しないでください。また、気温が低い冬場などは、装着時または使用時に冷たく感じる場合があります。
- 冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じることがあります。
- 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しないでください。ペースメーカーが、本機の電波の影響を受けるおそれがあります。
- 本機の近くで無線機器などをお使いの場合、ノイズが入ることがあります。
- 本機はマグネットを内蔵していますので、時計、磁気テープ、磁気カードなど、磁気の影響の恐れがあるものは近づけないでください。
- イヤホン本体や充電ケースが汚れた場合は、乾いた布で表面をふいてください。
- イヤーピースに汚れが付くと、音質に悪い影響を与えます。イヤーピースが汚れた場合は、本体からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水分をふき取ってからご使用ください。
- 充電端子を汚さないように、イヤホンと充電ケースの端子部分は定期的に綿棒などで軽く拭いて清掃してください。
- 最適な音量や音質を保つために、イヤーピースを外した箇所の音声出力部は、定期的にはやわらかい歯ブラシなどで軽く拭いて清掃してください。
- イヤーピースは消耗品のため、通常の使用や保存の状態でも、経年変化で劣化します。劣化によりイヤーピースがはずれやすくなり、使用中に耳の中ではずれて残る場合があります。
- イヤーピースの交換品をお求めの場合は、販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またははこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる人への危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。
	警告	死亡、または重傷を負う可能性があるもの。
	注意	傷害を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号

危険

- 端子をショートさせない また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物とこじりよに携帯または保管しない
火災や発火、破裂の原因になります。
- 本機には充電電池が内蔵されているので、次のような取り扱いはいししない
可燃性の液体やガス発生による爆発や漏れにつながる可能性があります。
 - ・ 火の中に投入する。 ・ 切ったり潰すなど、破壊する。
 - ・ 不適切に廃棄する。 ・ 非常に高温な場所や過度の低気圧環境に放置する。

警告

- 自転車・自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない
交通事故の原因になります。
- 屋外でご使用になる場合は、周囲の交通に十分注意する
交通事故の原因になります。
- 分解、改造しない
故障、発熱、火災・感電の原因になります。
- USB ケーブルは確実に差し込む
差し込みが不完全な場合は、発火や感電の原因になります。
- めれた手で本体や USB ケーブルをさわらない
発火や、感電の原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災ややけど、けがの原因になります。
- 幼児、子供の手の届く場所に放置しない
誤ってイヤホン本体やイヤーピースを飲み込む恐れがあります。

- 大きな音量で長時間聴かない
聴力に悪い影響を与える可能性があります。

注意

- 湿気やほこりの少ない場所で使用・保管する
発熱や発火、感電の原因になります。
- 充電中、使用中は毛布や衣類などを本機にかがせない
発熱や発火の原因になります。
- USB ケーブルが傷んだり、端子の差し込みがゆるいときは使用しない
発火や感電の原因になります。
- 火のそばやストーブのそば、車内、お風呂場など高温、高温になる場所で使用・充電したり、放置しない
発熱や発火、破裂の原因になります。

その他の情報

各種サポート情報については、当社のホームページをご参照ください。
<https://www.victor.jp/contact/>

充電式電池のリサイクルについて

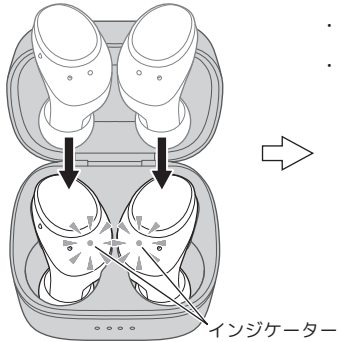
イヤホン本体や充電ケースに内蔵されている充電電池はリサイクルできます。充電電池の取りはずしはお客様自身では行わないでください。イヤホン本体や充電ケースを廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

1 充電する

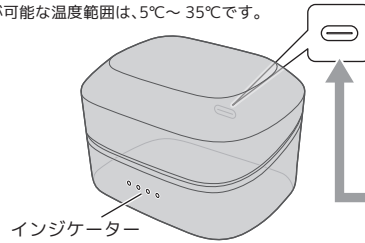


1 イヤホンを充電ケースに入れます。



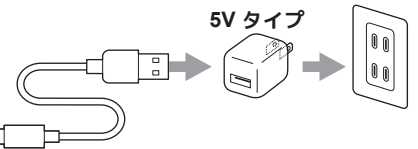
2 充電ケースとイヤホンを充電します。

- ・充電ケースの充電中は、インジケータが点灯・点滅します。充電が完了すると、すべてのインジケータが消灯します。
- ・イヤホンの充電中は、イヤホンのインジケータが点灯します。充電が終了すると、消灯します。
- ・充電が可能な温度範囲は、5°C～35°Cです。



充電ケースとイヤホンを同時に充電する場合、充電時間は約 3.5 時間です。

- ・故障や異常発熱の原因となりますので、USB 変換 AC アダプター(市販品)は、必ず出力電圧が DC5V で、電流が 1A 以上のものを使用してください。
- ・充電するときは、必ず付属の充電用 USB ケーブルを使用してください。

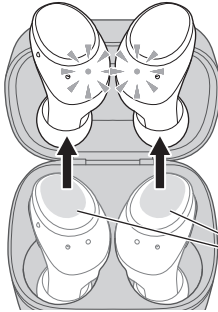


2 接続する

2 回目以降の接続については、Web マニュアル編をご参照ください。

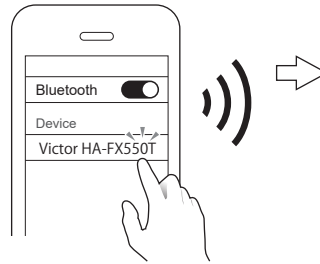
1 イヤホンを取り出します。

- ・インジケータが点滅し、電源が自動で入ります。

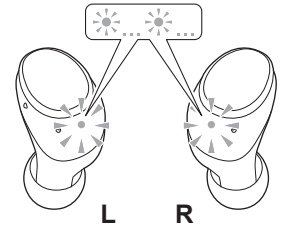


2 相手機器と接続します。

- ・Android 端末でポップアップ表示が出た場合は、画面の表示にしたがって接続してください。その他の場合は、相手機器の BLUETOOTH 機能を ON にして本機を選んでください。



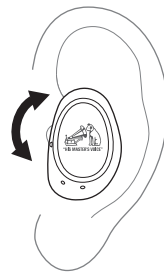
L/Rともゆっくり点滅すれば接続完了です。



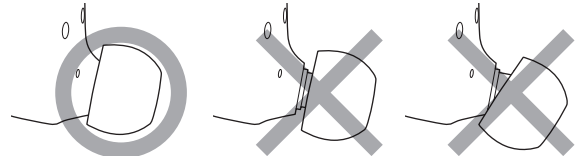
正しく接続できないときは、一度充電ケースに戻して、約 10 秒たってから、再度この「2 接続する」を行ってください。

3 装着する

ロゴが水平になるように装着した後、イヤホンを回転させて、最もフィットする角度に調整してください。



- ・良い音質で楽しんでいただくために、最適なサイズのイヤピースを選び、耳穴にフィットさせてお使いください。
- ・イヤピースのサイズが合っていないと、低音が不足したり、ノイズキャンセリングの効果が低下する原因になります。
- ・図に示すようにイヤピースが確実に取り付けられているか、ご確認ください。



4 操作する

タッチセンサー部



音楽の操作

L	タッチセンサー部のタップ操作	R
再生/停止 ▶/	●	周囲の音を聞く機能のオン/オフ切り替え (👂)
音量- 🔊-	●●	曲送り ▶▶
音量+ 🔊+	●●●	曲戻し ◀◀
音声アシスタントの起動 (🗣️)	●●●●	優先モードの切り替え (音質優先/接続優先切り替え)
低遅延モードのオン/オフ切り替え (🎵)	●●●●●	
サウンドモードの切り替え (🎵)	●●●●●	ノイズキャンセリング機能のオン/オフ切り替え (🔇)

電話の操作

L	タッチセンサー部のタップ操作	R
通話開始 ☎️	●	周囲の音を聞く機能のオン/オフ切り替え (👂)
マイクミュート切り替え (🔇)	●●	
音量- 🔊-	●●●	音量- 🔊-
音量+ 🔊+	●●●●	音量+ 🔊+
サイドトーン機能のオン/オフ切り替え (🗣️)	●●●●●	
イヤホン通話 ↔️ スマホ通話の切り替え (📞)	●●●●●	
着信時: 着信拒否 (🚫)	●●●●●	ノイズキャンセリング機能のオン/オフ切り替え (🔇)
通話中: 通話終了 (📞)	●●●●●	

使った後は、充電ケースに入れてください。電源が切れて充電を開始します。

本機の使用温度範囲は、5°C～40°Cです。

保証について

- ・この商品を家庭用として、取扱説明、接続例、注意書きなどに沿って、適切にご使用されたにもかかわらず、ご購入日から1年以内に故障した場合は、無料で交換いたします。
- ・本書とご購入日のわかる領収書(レシートなど)をご持参のうえ、ご購入の販売店にご相談ください。
- ・この商品は持込修理対象商品となります。対象商品を当社へ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。
- ・本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

製造番号

- ・お買い上げの商品の充電ケース底面部に表示されている8桁の製造番号をお確かめのうえ、ご記入ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87

携帯電話・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
 携帯電話 0570-010-114 (ナビダイヤル)
 一部IP電話 045-450-8950
 FAX 045-450-2308

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12